

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催
文部科学省 後援

令和7年度 第100回 簿記実務検定試験 第3級

(令和7年6月22日実施)

時間 9時00分から10時30分 (制限時間90分)

注意事項

- 1 監督者の指示があるまで、問題を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は1ページから6ページまであります。
- 3 問題用紙の落丁や印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督者の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には応じません。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 途中退室は原則できません。
- 6 試験終了後、問題用紙も回収します。

受験番号

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	定	期	預	金
売	掛	金	貸	倒	引	当	金	貸	付	金	備		品
買	掛	金	借		入	金		資	本	金	貸	倒	損
													失

- a. 兵庫商店へ借用証書によって、現金 ￥600,000 を貸し付けた。
- b. 和歌山商店（個人企業）は、現金 ￥1,300,000 を元入れして開業した。
- c. 福井商店は全商銀行に現金 ￥450,000 を定期預金として預け入れた。
- d. 得意先北南商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 ￥80,000 が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ￥57,000 ある。

2

石川商店の下記の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。なお、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	定	期	預	金	
前	払	金	前	受	金	通	信	費		水	道	光	熱	費

取 引

6月10日 白山商店から商品の注文を受け、内金として現金 ¥50,000 を受け取った。

(伝票番号 No.34)

〃 日 金沢通信会社に対する、5月分のインターネット料金 ¥29,000 が普通預金口座から引き落とされた。

(伝票番号 No.78)

3

大阪商店（個人企業）の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳（略式）に転記しなさい。
- (2) 売掛金元帳に記入して締め切ちなさい。
- (3) /月末における残高試算表を作成しなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳における小書きは省略すること。

iii 総勘定元帳および売掛金元帳には、日付と金額のみを記入すればよい。

取 引

/月 6日 仕入先 三重商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

No.0501	納 品 書	令和7年 1 月6日		
〒543-0042 大阪市天王寺区烏ヶ辻2-9-26				
大 阪 商 店 御 中				
〒512-0921 三重県四日市市尾平町永代寺2745				
三重商店 				
下記のとおり納品いたします。				
品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
B 品	200個	140	28,000	
以下余白				
合 計			¥28,000	

7日 得意先 奈良商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 150個 @ ¥300 ¥45,000

9日 仕入先 京都商店に対する買掛金 ¥21,000 を現金で支払った。

10日 得意先 滋賀商店に対する売掛金を次の小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

ZS00024	小 切 手	全国 5001 0914-012
支払地 滋賀県大津市京町四丁目1-1		
株式会社 全商銀行 滋賀支店		
金 額	¥46,000*	
上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください		
拒絶証書不要		
滋賀県大津市御陵町2-1		
滋 賀 商 店		
振出日 令和7年1月10日	振出人	滋 賀 優 一 
振出地 滋賀県大津市		

次ページに続く

14日 得意先 滋賀商店に次の商品を売り渡し、代金は現金で受け取った。

B品 100個 @ ¥200 ¥20,000

15日 水道光熱費 ¥3,900 が普通預金口座から引き落とされた。

16日 仕入先 京都商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 ¥700 は現金で支払った。

A品 300個 @ ¥210 ¥63,000

20日 得意先 奈良商店に対する売掛金の一部 ¥25,000 を現金で受け取った。

22日 仕入先 三重商店に対する買掛金の一部 ¥35,000 について、小切手を振り出して支払った。

24日 本月分の給料 ¥26,000 の支払いにあたり、所得税額 ¥1,200 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。

29日 得意先 滋賀商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 120個 @ ¥300 ¥36,000

B品 60〃 〃 〃 200 ¥12,000

30日 堺文房具店から事務用帳簿・伝票を購入し、代金は現金で支払い、次の領収証を受け取った。

領 収 証	
令和7年1月30日	
大阪商店 御中	
¥1,500-	
但し 事務用帳簿・伝票代金 として 上記正に領収いたしました	
〒590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3番1号 堺文房具店	

4 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の各文の に入る金額を求めなさい。

- a. 新潟商店（個人企業）の当期の収益総額が ¥1,845,000 で、当期純利益が ¥92,000 であるとき、当期の費用総額は ¥ ア である。
- b. 長岡商店（個人企業）の期首の資産総額は ¥4,590,000 負債総額は ¥2,736,000 であった。期末の資産総額は ¥6,732,000 で、この期間中の当期純利益が ¥610,000 であるとき、期末の負債総額は ¥ イ である。

(2) 次の各文の にあてはまるもっとも適当な語を、語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

- a. 仕訳帳と総勘定元帳は、すべての取引を記録する重要な帳簿である。これら二つの帳簿を ア という。

語 群

1. 現金出納帳 2. 主要簿 3. 補助簿

- b. 下記の帳簿は、商品の種類ごとに作成し、取引の発生順に受け入れや払い出しのつど数量や単価、金額、残高などの明細を記録したものである。この帳簿の名称を イ という。

語 群

1. 小口現金出納帳 2. 仕入帳 3. 商品有高帳

		イ										
(先入先出法)		品名 A品								単位：個		
令和 7年	摘 要	受 入			払 出			残 高				
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額		
1	1 前月繰越	50	100	5,000				50	100	5,000		
	8 富山商店	200	110	22,000				50	100	5,000		
								200	110	22,000		

(3) “Bookkeeping” を日本語であらわした場合、適当な語を次の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

語 群

1. 簿記 2. 貸借対照表 3. 損益計算書

5

- 北海道商店（個人企業 決算年／回 12月31日）の決算整理事項は、次のとおりであった。よって、
- (1) 精算表を完成しなさい。
 - (2) 備品勘定および給料勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

- | | |
|------------|--|
| a. 期末商品棚卸高 | ¥624,000 |
| b. 貸倒見積高 | 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。 |
| c. 備品減価償却高 | 取得原価 ¥420,000 残存価額は零（0）耐用年数は6年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。 |

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

第100回 簿記実務検定 3級 商業簿記〔解答用紙〕

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		

2

入金伝票		No. _____
令和7年 月 日		
科目	入金先	金額
摘要		
合計		

出金伝票		No. _____
令和7年 月 日		
科目	支払先	金額
摘要		
合計		

振替伝票		No. _____
令和7年 月 日		
勘定科目	借方	勘定科目
合計		合計
摘要		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

3 (1)

仕 訳 帳

1

[illegible]

総勘定元帳

[illegible]

資 本 金 10	売 上 11	仕 入 12
1/ 1 240,000		
給 料 13	水 道 光 熱 費 14	消 耗 品 費 15

(2) (注意) 売掛金元帳は締め切ること。

売 掛 金 元 帳			
滋 賀 商 店 1		奈 良 商 店 2	
1/ 1 46,000		1/ 1 25,000	

(3) 残 高 試 算 表

令和7年/月3/日

借 方	元 丁	勘定科目	貸 方
	/	現 金	
	2	当 座 預 金	
	3	普 通 預 金	
	4	売 掛 金	
	5	繰 越 商 品	
	6	備 品	
	7	買 掛 金	
	8	借 入 金	
	9	所 得 税 預 り 金	
	10	資 本 金	
	11	売 上	
	12	仕 入	
	13	給 料	
	14	水 道 光 熱 費	
	15	消 耗 品 費	

4	(1)	ア	¥		イ	¥	
---	-----	---	---	--	---	---	--

(2)	ア		イ	
-----	---	--	---	--

(3)	
-----	--

3	
得点	

4	
得点	

5

(1)

精 算 表

令和6年12月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	396,000							
当座預金	635,000							
売掛金	700,000							
貸倒引当金		5,000						
繰越商品	578,000							
備品	350,000							
買掛金		679,000						
借入金		400,000						
資本金		1,200,000						
売上		7,198,000						
受取手数料		60,000						
仕入	5,020,000							
給料	1,236,000							
支払家賃	450,000							
保険料	72,000							
水道光熱費	93,000							
支払利息	12,000							
	9,542,000	9,542,000						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
当期純利益								

(2)

- (注意) i 給料勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備 品		6
1/1 前期繰越	350,000	
給 料		13
	1,236,000	

5
得点